

総務

【防火ポスター優秀作品】



あらまき ひな
鶴ヶ島市立第一小学校3年 荒巻 姫菜 さんの作品です

1 消防の沿革

明治27年 2月 9日	消防組規則（勅令第15号）公布 市町村に消防組織が置かれた。
昭和14年 4月 1日	警防団令（勅令第20号）公布、4月1日施行 消防組は警防団に改組された。
昭和22年 4月30日	消防団令（勅令第185号）公布、警防団令廃止 警防団が解組し、新たに消防団が組織された。
12月23日	消防組織法（法律第226号）公布、昭和23年3月7日施行、消防団令廃止 自治体消防が発足
昭和47年10月 1日	坂戸町及び鶴ヶ島町の2町をもって坂戸・鶴ヶ島消防組合を設置 管理者に坂戸町長 林 徳之輔氏就任、消防長事務取扱 消防本部を坂戸町役場内に設置 職員 派遣職員5名、新採用3名、計8名 消防団を設置、坂戸町消防団及び鶴ヶ島町消防団を編入
12月25日	指令車1台購入
昭和48年 2月 3日	指令車1台購入
3月31日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
4月 1日	消防本部及び消防署を置かなければならない市町村の政令の指定を受けた。 消防署を設置し、坂戸町大字千代田50番地に仮事務所を置き、消防業務及び救急業務を開始 救急車1台を日本自動車工業会から寄贈を受けた。 消防用無線を購入、基地局を仮事務所に置き、移動局2台を消防車及び救急車に積載 職員 消防本部10名、消防署28名、計38名
6月28日	東松山地区消防組合と消防相互応援協定を締結
7月31日	日高町と消防相互応援協定を締結
8月27日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
11月14日	救急車1台を埼玉県共済農業共同組合連合会から寄贈を受けた。 車載用移動局6台、携帯用移動局6台購入
12月15日	消防本部庁舎新築落成し、消防本部の位置を定め、業務を開始 西分署を設置、消防業務を開始、水槽付消防ポンプ自動車1台、職員10名配置 36m梯子付き消防ポンプ自動車1台購入、本署に配備

		車載用移動局1台、携帯用移動局2台購入、消防救急一斉指令装置を設置
		自動計測気象観測装置を設置し、観測を開始
昭和49年	3月25日	指令車1台購入
	3月30日	車載用移動局1台、携帯用移動局2台購入
	4月 1日	坂戸町消防団の組織を改編
		職員 消防本部10名、消防署37名、計47名
	6月29日	救急業務を行わなければならない市町村の政令の指定を受けた。
昭和50年	4月 1日	職員 消防本部11名、消防署49名、計60名
		指令車1台を坂戸・鶴ヶ島石油商業組合から寄贈を受けた。
	5月 6日	西分署に救急車を1台配備、救急業務を開始
	8月23日	消防ポンプ自動車1台購入、本署に配備
	10月23日	車載用移動局2台購入
	11月 1日	川越地区消防組合と消防相互応援協定を締結
昭和51年	3月16日	救急車1台購入
	4月 1日	職員 消防本部11名、消防署51名、計62名
	6月 1日	庁用車1台購入
	9月 1日	坂戸市制施行
昭和52年	3月29日	消防救助訓練塔建設
	4月 1日	消防長に森田 彦二氏就任
		職員 消防本部13名、消防署57 名、計70名
	11月 1日	毛呂山・鳩山消防組合と消防相互応援協定を締結
昭和53年	4月 1日	職員 消防本部13名、消防署67名、計80名
	8月30日	消防本部、消防車庫及び物品庫建設
	10月 1日	職員 消防本部16名、消防署66名、計82名
		東分署を設置、消防業務を開始、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員14名配置
昭和54年	4月 1日	職員 消防本部15名、消防署74名、計89名
	11月12日	自衛隊又は米軍の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定を締結
	12月25日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
		車載用移動局1台購入
昭和55年	1月31日	小型動力ポンプ付水槽車1台購入
	4月 1日	職員 消防本部15名、消防署74名、計89名
	5月12日	管理者に坂戸市長 宮崎 雅好氏就任

	7月21日	救急隊員資格取得講習会を実施 38名が資格を取得
	8月18日	救急車1台を日本消防協会から寄贈を受けた。
	10月 1日	西入間広域消防組合と消防相互応援協定を締結(昭和52年11月1日 毛呂山・鳩山消防組合との消防相互応援協定は廃止)
昭和56年	3月 9日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
	4月 1日	職員 消防本部16名、消防署93名、計109名 南分署を設置、消防業務を開始、水槽付消防ポンプ自動車1台、救 急車1台、職員15名配置
	4月 4日	広報車3台購入
	6月10日	資機材搬送車1台を鶴ヶ島ライオンズクラブから寄贈を受けた。
昭和57年	3月 1日	職員 消防本部16名、消防署95名、計111名
	4月 1日	職員 消防本部17名、消防署101名、計118名
	7月 8日	指令車1台更新配備
	10月17日	消防組合10周年記念消防大会を実施
昭和58年	3月19日	救急車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部17名、消防署103名、計120名
	5月31日	南分署に空気充てん室を設置
昭和59年	4月 1日	職員 消防本部19名、消防署105名、計124名
	4月28日	特殊無線技士（無線電話乙）免許取得講習会を実施 40名が資格を取得
	5月29日	指令車1台購入
	9月 3日	車載用移動局1台購入
	12月22日	救助工作車1台購入 車載用移動局1台購入
昭和60年	4月 1日	埼玉県下消防相互応援協定を締結
	4月20日	特殊無線技士（無線電話乙）免許取得講習会を実施
	6月 5日	指令車1台購入
	8月30日	救急車1台更新配備
昭和61年	4月 1日	坂戸・鶴ヶ島消防組合消防音楽隊を設置
	6月28日	指令車1台更新配備
	10月 1日	職員 消防本部20名、消防署105名、計125名
	10月30日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入 車載用移動局1台購入 防火広報車1台を少年婦人防火委員会から寄贈を受けた。
昭和62年	1月 1日	坂戸・鶴ヶ島消防組合特別救助隊を設置
	2月20日	車載用移動局3台、携帯用移動局4台を購入

	4月 1日	消防長に井上 修吉氏就任
	10月31日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和63年	2月10日	救急無線通話装置、基地局1台、車載用移動局4台購入
	3月15日	車載用移動局1台、携帯用移動局3台購入
	6月10日	庁用車1台更新配備
	7月15日	指令車1台更新配備
	7月28日	救急車1台更新配備
平成元年	4月 1日	職員 消防本部19名、消防署111名、計130名
	12月29日	救急車1台更新配備
平成 2年	3月26日	消防緊急情報システム整備
	4月 1日	職員 消防本部30名、消防署102名、計132名
	11月28日	消防車1台を埼玉トヨタ自動車株式会社から寄贈を受けた。
	11月30日	化学消防ポンプ自動車1台購入 車載用移動局1台購入
	12月17日	携帯用移動局8台更新
	12月21日	簡易水槽2基、テント5張を坂戸・鶴ヶ島危険物安全協会から寄贈を受けた。
平成 3年	3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定を締結
	4月 1日	職員 消防本部31名、消防署106名、計137名
	7月25日	小型動力ポンプ付積載車1台を財団法人日本消防協会から寄贈を受けた。
	9月 1日	鶴ヶ島市制施行
	9月17日	救急車、クレーン付資機材搬送車各1台を坂戸ガス株式会社から寄贈を受けた。
	10月 1日	日高市と消防相互応援協定を締結(昭和48年7月31日日高町との消防相互応援協定は廃止)
	10月 8日	消防ポンプ自動車1台を社団法人日本損害保険協会から寄贈を受けた。
	10月30日	35m梯子付消防自動車1台更新配備
	11月 8日	車載用移動局1台購入、携帯用移動局4台更新
	12月25日	車載用移動局6台更新
平成 4年	3月 6日	救急車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部32名、消防署111名、計143名 比企広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結
	5月29日	広報車1台更新配備
	11月 1日	消防組合20周年記念式典を実施

	12月15日	車載用移動局4台更新
平成 5年	3月11日	首都圏中央連絡自動車道建設に伴い、南分署庁舎を太田ヶ谷地内から三ツ木地内に移転
	4月 1日	組織の改革を行い、南分署を鶴ヶ島消防署に改めた。 消防長に武藤 覚氏就任 職員 消防本部33名、消防署119名、計152名
	5月12日	広報車1台更新配備
	10月20日	15m梯子付消防ポンプ自動車 1 台購入
	10月26日	携帯用移動局2台購入
	11月 8日	車載用移動局3台更新
平成 6年	1月25日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部35名、消防署130名、計165名 坂戸・鶴ヶ島消防組合に配置する水槽車の使用に関する協定を締結
	7月26日	指令車1台更新配備
	10月19日	携帯用移動局4台更新
	11月22日	車載用移動局1台更新
	11月30日	小型動力ポンプ付水槽車1台更新配備
	12月15日	高規格救急車1台配備
平成 7年	2月28日	消防本部事務所等新築工事
	3月20日	救急救命士による高度救命業務開始
	4月 1日	消防長に高篠 一氏就任 職員 消防本部36名、消防署134名、計170名
	5月 1日	広報車1台を坂戸・鶴ヶ島危険物安全協会から寄贈を受けた。
	7月 6日	庁用車1台更新配備
	7月21日	人員搬送車1台購入
	8月29日	指令車1台更新配備
	11月24日	車載用移動局2台、携帯用移動局3台更新
	12月21日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
平成 8年	3月21日	携帯用移動局1台購入
	4月 1日	職員 消防本部40名、消防署133名、計173名 埼玉西部広域事務組合と消防相互応援協定を締結（平成3年10月1日日高市との消防相互応援協定は廃止）
	7月 4日	広報車1台更新配備
	7月26日	資機材搬送車1台更新配備
	7月31日	指令車1台更新配備

	10月 1日	坂戸・鶴ヶ島消防組合消防職員委員会を設置
	10月23日	基地局1台、車載用移動局1台更新、携帯用移動局3台購入
	12月20日	消防ポンプ自動車1台購入
平成 9年	3月10日	坂戸・鶴ヶ島危険物安全協会と震災時等における燃料及び簡易救助器具等の支援に関する協定を締結
	3月18日	高規格救急車1台配備
	3月25日	消防本部庁舎耐震改修工事
	4月 1日	組織の改革を行い、消防署に当直司令制を導入、中隊制を係制に改めた。 職員 消防本部40名、消防署135名、計175名
	9月16日	車載用移動局3台、携帯用移動局4台更新
	10月27日	消防本部車庫増築工事
平成10年	3月20日	自衛隊又は米軍の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定を締結（昭和54年11月12日自衛隊又は米軍の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定は廃止）
	4月 1日	職員 消防本部40名、消防署134名、計174名
	8月24日	指令車1台更新配備
	10月27日	車載用移動局3台、携帯用移動局4台、基地局2台更新
	12月21日	東分署冷暖房等改修工事
平成11年	3月25日	救助工作車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部40名、消防署134名、計174名
	7月30日	可搬消防ポンプ付軽積載車1台を財団法人日本消防協会から寄贈を受けた。
	10月22日	車載用移動局4台、携帯用移動局1台更新
平成12年	3月30日	西分署庁舎改築
	4月 1日	消防長に鈴木 忠良氏就任 職員 消防本部39名、消防署136名、計175名
	5月12日	管理者に坂戸市長 伊利 仁氏就任
	11月24日	基地局設備の改修及び全国波の導入
	12月14日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
平成13年	3月13日	自動出動指定装置及び地図等検索装置の購入
	3月23日	高規格救急自動車1台を社団法人日本損害保険協会から寄贈を受けた。
	4月 1日	職員 消防本部38名、消防署135名、計173名

	6月 8日	災害救助艇の使用等に関する協定を締結
	8月 3日	高規格救急自動車1台配備
	9月25日	指揮車1台更新配備
	9月28日	車載用移動局1台、携帯用移動局1台更新
	12月18日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
平成14年	4月 1日	職員 消防本部39名、消防署135名、計174名
	8月 5日	高規格救急自動車1台更新配備
	9月25日	車載用移動局3台更新
	10月 1日	消防組合30周年
平成15年	4月 1日	消防長に浅見 清氏就任
		職員 消防本部39名、消防署134名、計173名
	9月26日	資機材車1台緊急自動車として更新配備
	10月20日	可搬型移動局1台、車載用移動局1台、携帯用移動局2台更新
平成16年	3月 2日	テロ対策活動装備品購入
	3月22日	消防本部庁舎増築等工事
	4月 1日	職員 消防本部40名、消防署138名、計178名
	7月 1日	消防長に木村 栄一氏就任
	8月10日	防災指導車1台を財団法人日本宝くじ協会から寄贈を受けた。
	10月 7日	広報車1台更新配備
	12月 1日	高規格救急自動車1台更新配備
平成17年	3月27日	高機能消防指令センター運用開始
	4月 1日	消防本部に指令課を設置
		職員 消防本部45名、消防署138名、計183名
	5月24日	広報車1台を坂戸・鶴ヶ島防火安全協会から寄贈を受けた。
	8月23日	資機材車1台更新配備
	10月26日	携帯用移動局3台更新
平成18年	1月 1日	関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定を締結
	3月24日	消防ポンプ自動車1台更新配備
	4月 1日	組織の改革を行い、当直司令制を廃止、係制を担当制に改めた。
		職員 消防本部47名、消防署143名、計190名
	11月 8日	消防本部庁舎屋上防水等工事
	11月22日	鶴ヶ島消防署空調設備改修工事
	12月 1日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定を締結

	12月26日	災害対応特殊救急自動車1台配備
平成19年	4月 1日	職員 消防本部48名、消防署145名、計193名
	6月 1日	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会と災害時における燃料及び簡易救助器具等の支援協力に関する協定を締結（平成9年3月10日坂戸・鶴ヶ島危険物安全協会との協定は廃止）
	7月 1日	埼玉県下消防相互応援協定を締結（昭和60年4月1日埼玉県下消防相互応援協定は廃止）
	11月 8日	広報車 1 台更新配備
	11月27日	埼玉県と消防機関及び埼玉DMA Tの災害時における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定を締結
平成20年	2月 4日	消防本部受水槽等改修工事
	2月12日	鶴ヶ島消防署外壁等改修工事
	3月10日	川越地区消防組合と消防相互応援協定を締結（昭和50年11月1日川越地区消防組合との消防相互応援協定は廃止）
	3月18日	指揮車 1 台更新配備
	4月 1日	消防長に稲村 進氏就任 職員 消防本部47名、消防署146名、計193名
	8月25日	広報車 1 台更新配備
	11月 5日	指令車 1 台更新配備
	11月10日	N B C 災害対応資機材購入
平成21年	3月24日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部50名、消防署145名、計195名
	8月25日	消防本部車庫兼倉庫建設工事
	10月 2日	陽圧式化学防護服更新配備
	10月30日	空気式救助マット(マット型空気ジャッキ)更新配備
平成22年	1月12日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	2月 8日	災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車 1 台更新配備
	2月25日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型1台更新配備
	3月13日	消防組合防火大会を実施
	4月 1日	消防長に石井 利幸氏就任 職員 消防本部48名、消防署145名、計193名
	10月 6日	自動体外式除細動器購入
	11月17日	消防本部庁舎及び東分署ガス冷暖房機改修工事
	11月29日	デジタルテレビ受信設備改修工事

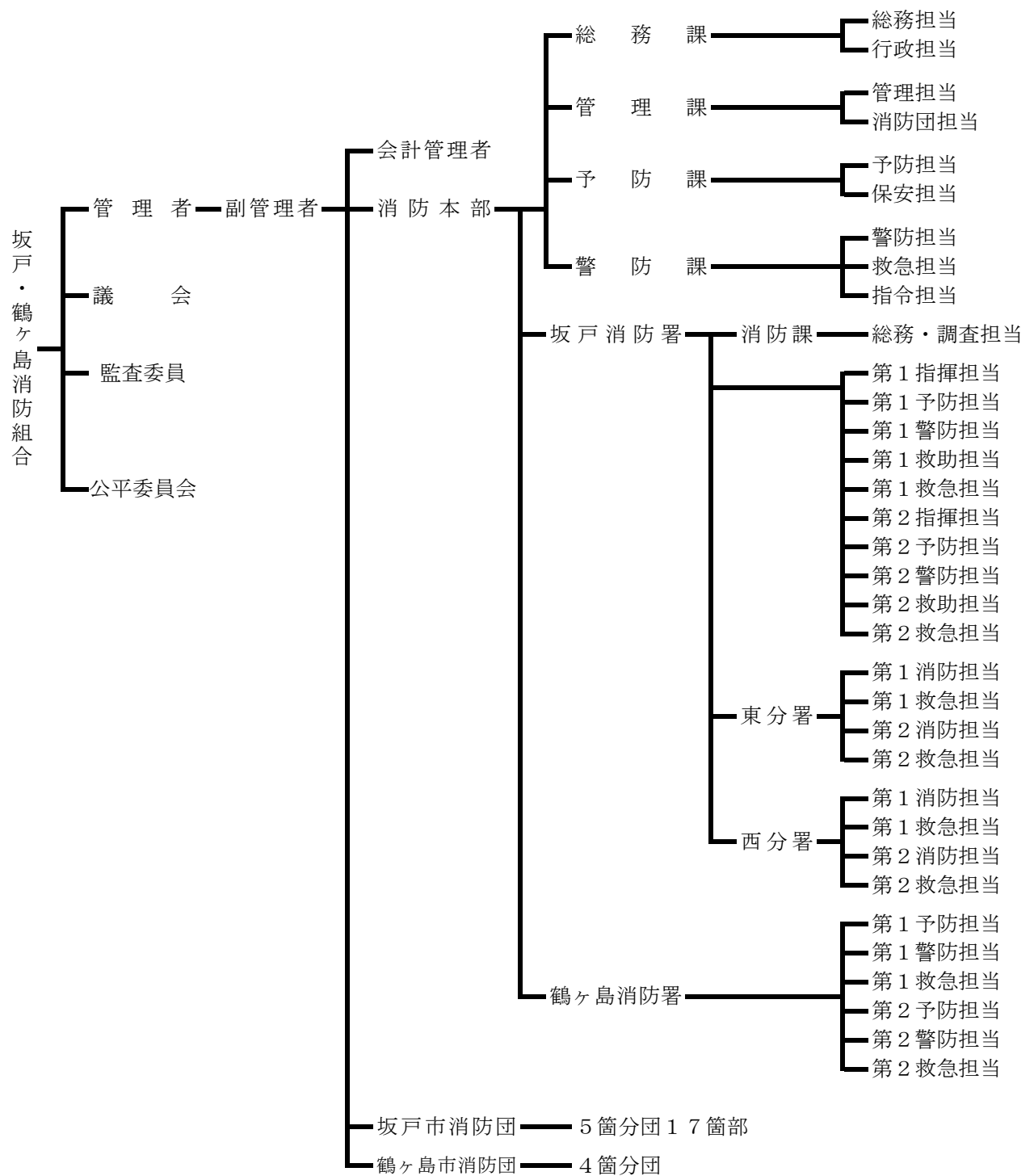
平成23年	2月24日	財団法人日本消防協会から坂戸市消防団に寄贈された防災広報車1台が消防組合に引渡された。
	2月28日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
	3月14日	35m梯子付消防自動車1台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部45名、消防署148名、計193名
	9月13日	自動体外式除細動器購入
	10月20日	エアーテント更新配備
平成24年	1月12日	人員搬送車 1 台更新配備
	2月22日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	3月 1日	消防ポンプ自動車 1 台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部47名、消防署148名、計195名
	5月14日	管理者に坂戸市長 石川 清就任
	7月13日	鶴ヶ島消防署女性用浴室等設置工事
	8月31日	坂戸消防署西分署外壁等改修工事
	10月 1日	消防組合40周年
平成25年	2月26日	25m屈折梯子付消防自動車 1 台更新配備
	3月13日	指令車 1 台更新配備
	3月18日	高機能消防指令センター指令装置等部分更新
	3月31日	坂戸・鶴ヶ島消防組合音楽隊を活動休止
	4月 1日	消防長に田畑 美紀雄氏就任
		職員 消防本部48名、消防署147名、計195名
		埼玉西部消防組合と消防相互応援協定を締結（平成8年4月1日埼玉西部広域事務組合との消防相互応援協定は廃止）
		日高市と消防団相互応援協定を締結
	7月22日	坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合消防通信指令事務協議会を設置
	9月18日	庁用車 1 台更新配備
	11月 8日	緊急消防援助隊装備品購入
平成26年	2月 7日	タブレット端末購入（全高規格救急自動車等に配備）
	2月25日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	2月26日	財団法人日本消防協会から坂戸市消防団に寄贈された広報車 1 台が消防組合に引渡された。
	3月 5日	救助工作車 1 台更新配備
	4月 1日	消防長に加藤 公司氏就任
		職員 消防本部48名、消防署147名、計195名

	5月15日	坂戸・鶴ヶ島消防組合の締結する契約からの暴力団排除に関する協定を締結
	8月18日	ドライブレコーダー購入（全車両に配備）
	9月 1日	位置情報通知システム（統合型）運用開始
平成27年	3月 3日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	3月13日	訓練塔、電波塔建設等工事
	4月 1日	職員 消防本部45名、消防署148名、計193名 坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合消防指令センター共同運用開始
	5月15日	組立水槽消防用 2 基を坂戸・鶴ヶ島防火安全協会から寄贈を受けた。
平成28年	2月10日	指令車 1 台更新配備
	2月24日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	3月 1日	比企広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結（平成4年4月1日比企広域市町村圏組合との消防相互応援協定は廃止）
	3月31日	坂戸・鶴ヶ島消防組合音楽隊廃止
	4月 1日	消防長に岡部 久志氏就任 職員 消防本部45名、消防署152名、計197名
	6月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
	9月 5日	救急医療優良団体知事表彰を受賞
	11月18日	鶴ヶ島消防署別棟防水等工事
	12月22日	消防本部増築棟外壁等改修工事
平成29年	2月21日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	3月21日	支援車 1 台購入
	4月 1日	職員 消防本部46名、消防署155名、計201名 消防長の階級を消防正監に改めた。
	6月19日	災害時における消防業務の支援協力に関する協定を締結
	8月29日	坂戸消防署東分署乾燥室設置工事
	10月 1日	多言語通訳システム運用開始
	12月20日	災害時における消防用水の確保に関する協定を締結
平成30年	2月27日	消防本部庁舎空調設備等改修工事
	3月 1日	救命ボート一式更新配備
	3月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備 高機能消防指令センター部分更新
	3月20日	埼玉医科大学国際医療センターのドクターカー運用に関する協定を締結

	3月26日	鶴ヶ島消防署訓練塔改築工事
	4月 1日	職員 消防本部48名、消防署159名、計207名
	10月31日	消防本部庁舎窓枠等改修工事
	11月30日	鶴ヶ島消防署庁舎屋上防水等工事
	12月25日	坂戸消防署消防出場信号盤改修工事
平成31年	3月 7日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新配備
	3月19日	指揮車1台更新配備
	4月 1日	消防長に金子 和宏氏就任
		職員 消防本部47名、消防署160名、計207名
令和元年	12月17日	35m梯子付消防自動車分解整備実施
令和 2年	1月24日	資機材車 1 台新規配備
	1月31日	消防本部庁舎外照明LED化改修工事
	2月21日	消防本部及び鶴ヶ島消防署自家用発電機設置等工事
	4月 1日	消防長に中村 政美氏就任
		職員 消防本部48名、消防署158名、計206名
	10月21日	消防本部他トイレ等改修工事
	11月15日	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会と災害時における燃料及び簡易救助器具等の支援協力に関する協定を締結（平成19年6月1日坂戸・鶴ヶ島防火安全協会との協定は廃止）
	11月25日	坂戸・鶴ヶ島消防組合イメージキャラクター「さかぼう・つるぼう」制定
	12月10日	25m梯子付消防自動車分解整備実施
	12月23日	可搬型架台付 2 号消火栓格納箱を坂戸防災株式会社から寄贈を受けた。
令和 3年	1月19日	消防ポンプ自動車 1 台更新配備
	2月 3日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	2月24日	消防本部他空調設備改修工事
	4月 1日	職員 消防本部50名、消防署158名、計208名
	5月 1日	埼玉西部地域消防指令事務協議会設置
	6月22日	災害用ドローン 1 機新規配備
	12月24日	坂戸消防署東分署建設用地購入
令和 4年	1月20日	高規格救急自動車 2 台更新配備
	4月 1日	職員 消防本部50名、消防署160名、計210名
	10月 1日	消防組合50周年
	10月27日	鶴ヶ島消防署車庫建設工事
令和 5年	1月25日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	4月 1日	消防長に沼田 淳司就任
		職員 消防本部50名、消防署159名、計209名

令和 6年	1月24日	埼玉西部地域消防指令センター仮運用開始
	2月26日	資機材車 1 台更新配備
	2月29日	高規格救急自動車 1 台更新配備
	3月22日	坂戸消防署東分署建設用地拡張部分購入
	4月 1日	職員 消防本部47名、消防署163名、計210名 埼玉西部地域消防指令センター運用開始
	7月25日	坂戸防災株式会社から緊急車両購入費の寄附を受けた。
	10月31日	35m梯子付消防自動車分解整備実施
	11月 1日	坂戸消防署東分署を中小坂地内に移転、運用開始

2 消防組合の組織



令和6年4月1日現在

消防現勢力図等

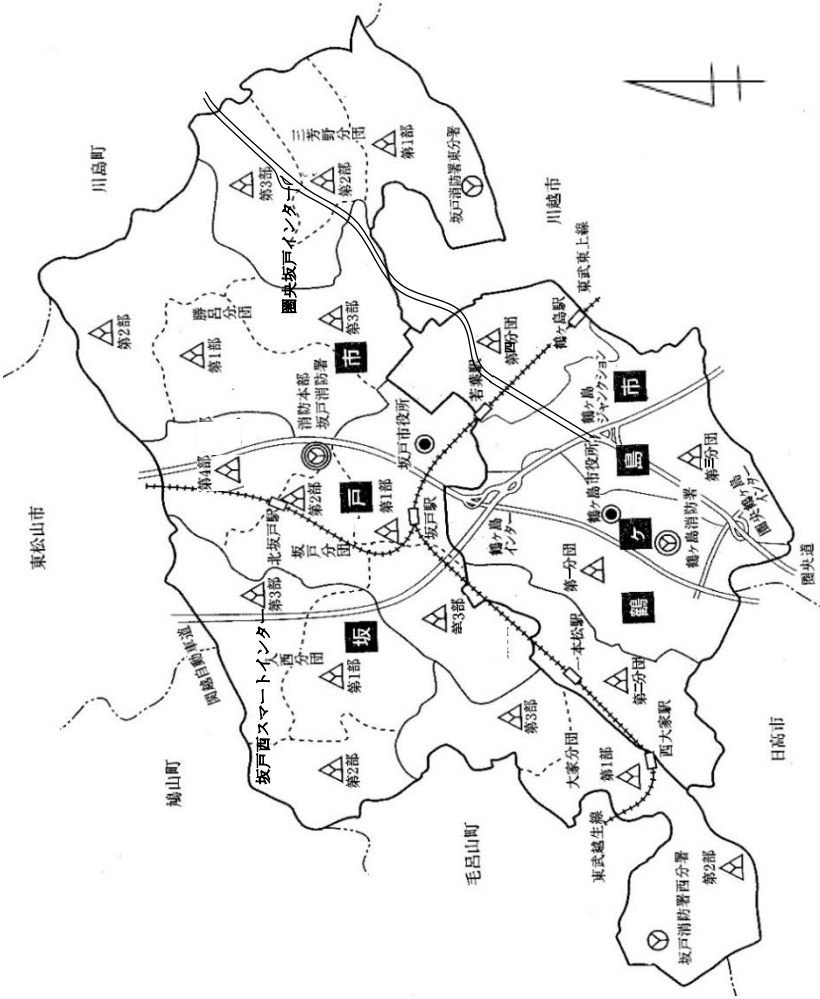


消防本部・坂戸消防署

位 置	坂戸市鎌倉町16番16号	
建設年月	昭和48年12月15日	
建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建	
建築面積	1,099.07㎡	
延面積	2,672.91㎡	
敷地面積	1,993.05㎡	



坂戸消防署 西分署



凡例

- 市役所
- 消防本部
- 消防署
- 分署
- 消防団車庫・詰所



坂戸消防署 東分署

位 置	坂戸市大字中小坂469番3
建設年月	令和6年10月31日
建物構造	鉄筋コンクリート造3階建
建築面積	600.86㎡
延 面 積	1004.42㎡
敷地面積	3,467.00㎡



鶴ヶ島消防署

位	置	鶴ヶ島市大字三ツ木378番地2
建設年月	平成5年3月10日	
建物構造	鉄筋コンクリート造3階建	
建築面積	916.58㎡	
延面積	1,672.63㎡	
敷地面積	3,470.84㎡	

位 置	坂戸市西坂戸三丁目1番5号
建設年月	平成12年3月30日
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建
建築面積	326.64㎡
延 面 積	598.26㎡
敷地面積	1,169.85㎡

消防本部・署の事務分掌

消 防 本 部	務	総務担当	1 人事及び給与に関すること。 2 文書に関すること。 3 庁内LANに関すること。 4 職員の研修及び福利厚生並びに保健に関すること。 5 埼玉県市町村職員共済組合及び埼玉県市町村総合事務組合に関すること。 6 埼玉県町村会に係る事務のうち職員に関すること。 7 公印の管守に関すること。 8 表彰に関すること。 9 職員の公務災害補償に関すること。 10 消防職員委員会に関すること。 11 消防長会に関すること。 12 庁用物品の購入、維持及び管理に関すること。 13 庶務の総括に関すること。 14 その他総務事務に関すること。
		行政担当	1 企画に関すること。 2 公告式に関すること。 3 予算及び決算に関すること。 4 会計事務に関すること。 5 条例規則等に関すること。 6 組合議会に関すること。 7 監査委員に関すること。 8 一部事務組合に関すること。 9 情報公開に関すること。 10 組合公報に関すること。 11 ホームページ及びソーシャルメディアの総括に関すること。 12 工事の請負又は物品の購入等に係る入札に関すること
	課	管理担当	1 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 2 庁舎、車庫詰所及び附属施設の管理に関すること。 3 消防車両及び消防用機械器具の整備計画に関すること。 4 消防用施設の整備に関すること。 5 消防用資機材の購入整備に関すること。 6 消防水利等に関すること。 7 埼玉県町村会に係る事務のうち公有物件に関すること。 8 課の庶務に関すること。
		消防担当	1 消防協会及び消防団の事務に関すること。 2 消防団員及び消防協力者等の災害補償に関すること。 3 消防団員の教養訓練に関すること。
	予防課	予防担当	1 防火指導及び消防用設備等の設置に関すること。 2 火災報告の総括に関すること。 3 建築物の同意及び指導に関すること。 4 消防統計に関すること。 5 火災予防広報に関すること。 6 防火管理講習及び証明に関すること。 7 消防設備士に関すること。 8 火災予防条例の実施に関すること。 9 防火クラブ等及び自衛消防組織等の育成、指導に関すること。 10 課の庶務に関すること。
		保安担当	1 危険物の規制事務に関すること。 2 指定可燃物の規制事務に関すること。 3 液化石油ガス等の保安事務に関すること。 4 火薬類取締事務に関すること。 5 火災予防査察の総括に関すること。 6 危険物取扱者に関すること。 7 防火対象物点検報告制度に関すること。 8 消防用設備等の維持点検制度に関すること。 9 防火管理制度に関すること。 10 住宅防火に関すること。 11 坂戸・鶴ヶ島消防組合防火安全協会に関すること。

警 防 課	警 防 担 当	1 消防計画に関すること。 2 消防応援に関すること。 3 関越自動車道に係る連絡調整に関すること。 4 防災に関すること。 5 構成市の防災担当との連絡調整に関すること。 6 火災警報に関すること。 7 警防視察に関すること。 8 警防、救助の総括に関すること。 9 警防用物品の購入、維持及び管理に関すること。 10 指導要綱の総括に関すること。 11 坂戸消防署東分署建設に関すること。 12 災害通報の受付及び指令管制業務に関すること。 13 高機能消防指令システムの運用及び保守管理に関すること。 14 災害情報の収集及び速報に関すること。 15 火災警報信号及びその他の消防信号に関すること。 16 無線通信の管制業務に関すること。 17 気象情報の収集・伝達及び気象観測装置の維持管理に関すること。 18 地震情報の収集・伝達に関すること。 19 坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合消防通信指令事務協議会に関すること。 20 坂戸市、鶴ヶ島市防災行政無線に関すること。 21 埼玉県防災行政無線、衛星通信、救急医療情報等に関すること。 22 課の庶務に関すること。 23 その他警防事務に関すること。
	救 急 担 当	1 救急業務の総括に関すること。 2 救急業務の高度化推進に関すること。 3 医療機関等との連絡調整及び教育訓練に関すること。 4 救急機械器具の整備に関すること。 5 救急搬送証明及び要保護者搬送報告に関すること。 6 応急手当等の普及に関すること。 7 患者等搬送事業の指導及び認定に関すること。 8 救急消耗品、備品等の購入に関すること。
	指 担 令 当	1 埼玉西部地域消防指令事務協議会に関すること。 2 埼玉西部地域消防指令センターに関すること。

【防火ポスター防火安全協会会長賞】



坂戸市立片柳小学校 4 年 菅野 華 さんの作品です。

消 防 課	消 防 課	1 署の公印の管守に関する事。
		2 署の契約事務の総括に関する事。
		3 署の庶務の総括に関する事。
		4 総務・調査用品等の購入、維持及び管理に関する事。
		5 火災原因及び損害等の調査の総括に関する事。
		6 り災証明に関する事。
		7 火災予防査察及び消防訓練等の総括に関する事。
		8 火災等の調査、報告及び統計の総括に関する事。
		9 署員の教養訓練及び服務の総括に関する事。
		10 防火クラブ等の育成指導の総括に関する事。
指 揮 担 当	指 揮 担 当	11 その他庶務・調査担当業務に関する事。
		1 各種災害活動の総括に関する事。
		2 災害現場における指揮活動に関する事。
		3 災害現場における情報収集及び現場広報に関する事。
		4 災害現場における火災原因及び損害等の調査に関する事。
		5 火災予防査察に関する事。
		6 災害活動技術の調査、研究及び計画に関する事。
		7 警防活動に基づく訓練の研究及び立案に関する事。
		8 火災等の調査、報告及び統計に関する事。
		9 水火災等の警戒及び防御計画立案の取りまとめに関する事。
予 防 担 当	予 防 担 当	10 指揮用品等の購入、維持及び管理に関する事。
		11 その他指揮担当業務に関する事。
		1 火災現場の保存に関する事。
		2 火災原因及び損害調査に関する事。
		3 災害現場の広報に関する事。
		4 火災予防査察及び消防訓練等に関する事。
		5 建築物の確認及び同意事務に関する事。
		6 火災予防条例第45条第1号、第4号及び第5号及び第6号に基づく届出等の事務処理に関する事。
		7 消防の統計に関する事。
		8 婦人防火クラブの指導に関する事。
警 防 担 当	警 防 担 当	1 水火災等の警戒及び防御計画の立案に関する事。
		2 特殊災害の警防活動に関する事。
		3 警防調査に関する事。
		4 地理調査及び消防水利の使用、管理に関する事。
		5 消防機械機具の使用、管理、整備、保全並びに研究開発に関する事。
		6 警防用品等の購入、維持及び管理に関する事。
		7 署員の教養訓練及び服務に関する事。
		8 警防関係の統計に関する事。
		9 少年消防クラブの育成指導に関する事。
		10 その他警防業務に関する事。
救 助 担 当	救 助 担 当	1 救助活動に関する事。
		2 救助訓練の実施に関する事。
		3 救助困難な対象物の調査に関する事。
		4 救助資器材の保守管理に関する事。
		5 救助企画に関する事。
		6 救助の統計に関する事。
		7 署の庶務に関する事。
		8 救助消耗品、備品等の購入、維持及び管理に関する事。
		9 その他救助業務に関する事。
救 急 担 当	救 急 担 当	1 救急活動に関する事。
		2 救急隊員等の教育訓練及び指導に関する事。
		3 救急資器材の保守管理に関する事。
		4 救急企画に関する事。
		5 救急の統計に関する事。
		6 応急手当普及及び啓発に関する事。
		7 救急消耗品、備品等の維持及び管理に関する事。
		8 その他救急業務に関する事。
消 防 担 当	消 防 担 当	1 火災現場の保存に関する事。
		2 火災原因及び損害調査に関する事。
		3 災害現場の広報に関する事。
		4 火災予防査察及び消防訓練等に関する事。
		5 建築物の確認及び同意事務に関する事。

消 防 署	消 防 担 当	6	火災予防条例第45条第1号、第4号及び第5号及び第6号に基づく届出等の事務処理に関すること。
		7	消防の統計に関すること。
		8	防火クラブ等の育成指導に関すること。
		9	水火災等の警戒及び防御計画の立案に関すること。
		10	特殊災害の警防活動に関すること。
		11	警防調査に関すること。
		12	地理調査及び消防水利の使用、管理に関すること。
		13	消防機械器具の使用、管理、整備、保全並びに研究開発に関すること。
		14	署員の教養訓練及び服務に関すること。
		15	警防関係の統計に関すること。
		16	その他消防業務に関すること。

【防火ポスター優秀作品】



鶴ヶ島市立南小学校4年

かじ あおい
加地 蒼唯さんの作品です。

坂戸市立坂戸小学校4年

むろふし かずき
室伏 一興さんの作品です。



5 世帯・人口

(10月1日現在)

市 別 年 次	坂 戸 市			鶴ヶ島市			合 計		
	世帯数	人 口	1km ² 当り 人 口	世帯数	人 口	1km ² 当り 人 口	世帯数	人 口	1km ² 当り 人 口
令和2年	46,452	100,487	2,450	31,765	69,918	3,961	78,217	170,405	2,904
令和3年	46,976	100,110	2,441	32,447	70,067	3,970	79,423	170,177	2,901
令和4年	47,488	99,926	2,436	33,012	70,177	3,976	80,500	170,103	2,899
令和5年	47,941	99,572	2,427	33,454	70,106	3,972	81,395	169,678	2,892
令和6年	48,832	99,821	2,433	33,828	69,847	3,957	82,660	169,668	2,892

6 消防予算

(1) 構成市の予算と消防組合予算

(単位 千円)

区 分 年 次	構 成 市 の 最 終 予 算 額			消防組合の 最終予算額	構成市の予算に 対する消防組合 の予算比率(%)
	坂 戸 市	鶴ヶ島市	合 計		
令和2年	45,846,731	32,922,535	78,769,266	2,546,453	3.23
令和3年	37,630,925	27,807,535	65,438,460	2,439,027	3.73
令和4年	37,308,284	26,214,049	63,522,333	2,512,672	3.96
令和5年	39,453,285	27,653,452	67,106,737	3,346,989	4.99
令和6年 (当初予算)	32,655,000	24,360,000	57,015,000	3,146,805	5.52

(2) 基準財政需要額との比較

(単位 千円)

区 分 年 次	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額			組合歳出決算額 (含施設費等)	比 率 (%)
	坂 戸 市	鶴ヶ島市	合 計		
令和2年	1,254,194	929,054	2,183,248	2,444,431	112.0
令和3年	1,277,956	954,369	2,232,325	2,386,304	106.9
令和4年	1,246,566	932,133	2,178,699	2,576,869	118.3
令和5年	1,246,942	936,990	2,183,932	3,346,989	153.3
令和6年	1,267,261	949,829	2,217,090	3,146,805 (当初予算)	141.9

7 消防職員

(1) 所属、階級別職員数

階 級 所 属		消 防 吏 員								事 務 職 員	合 計
		消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士		
実 員		1	3	6	45(1)	46(3) [6]	29(2)	35	38	1	204(6) [6]
消 防 本 部	消防長・参与	1									1
	次長・副参与		3							1	4
	総 務 課				2	4[1]	2(1)	1			9(1) [1]
	管 理 課			1	1	2[2]	1				5[2]
	予 防 課			1	2	2[1]	1	2			8[1]
	警 防 課				10	6(2) [2]	1	1			18(2) [2]
消 防 署	消 防 課				2	1		1			4
	坂 戸 消 防 署			1	12(1)	13	9	15	16		66(1)
	坂 戸 消 防 署 東 分 署			1	4	4	4	2	6		21
	坂 戸 消 防 署 西 分 署			1	4	6	2	4	5		22
	鶴ヶ島消防署			1	8	8(1)	9(1)	9	11		46(2)

※()は女性職員数を表す。

※[]は再任用短時間勤務職員数を外書き計上。

(2) 年齢、階級別職員数

階 級 年 齢	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員	計	割 合 (%)
18歳～20歳								8		8	3.9
21 " ～25 "							3	27		30	14.7
26 " ～30 "						10	32	3		45	22.0
31 " ～35 "					2	14(1)				16(1)	7.8
36 " ～40 "					30(1)	4(1)				34(2)	16.7
41 " ～45 "				5(1)	9(2)	1				15(3)	7.4
46 " ～50 "			2	18	2					22	10.8
51 " ～55 "	1		3	21	1				1	27	13.2
56 " ～60 "		3	1	1						5	2.5
61 " ～65 "					2[6]					2[6]	1.0
合 計	1	3	6	45(1)	46(3) [6]	29(2)	35	38	1	204(6) [6]	100.0
平均年齢	55.0	57.3	52.7	50.0	40.4	32.7	27.2	22.7	53.0	43.4	

※()は女性職員数を表す。

※[]は再任用短時間勤務職員数を外書き計上。

(3) 勤続年数、階級別職員数

階級 勤続年数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計	割合(%)
3年未満							1	20	1	22	10.8
3年以上 4年未満							2	5		7	3.4
4 " 5 "							3	8		11	5.4
5 " 6 "							7	5		12	5.8
6 " 7 "						4(1)	5			9(1)	4.4
7 " 8 "						2	7			9	4.4
8 " 9 "						4	4			8	3.9
9 " 10 "						3	6			9	4.4
10 " 11 "						3				3	1.5
11 " 12 "					1	4				5	2.5
12 " 13 "					2	1				3	1.5
13 " 14 "					3	4				7	3.4
14 " 15 "					7					7	3.4
15 " 16 "					5	1(1)				6(1)	2.9
16 " 17 "					1	2				3	1.5
17 " 18 "					7					7	3.4
18 " 19 "					9(2)					9(2)	4.4
19 " 20 "				1	2(1)	1				4(1)	2.0
20 " 21 "				1	3					4	2.0
21 " 22 "											
22 " 23 "					1					1	0.5
23 " 24 "											
24 " 25 "				2						2	1.0
25 " 26 "				3(1)						3(1)	1.5
26 " 27 "											
27 " 28 "											
28 " 29 "			1	4	1					6	2.9
29 " 30 "			2	6						8	3.9
30 " 31 "			1	9						10	4.9
31 " 32 "				6	1					7	3.4
32 " 33 "			1	4						5	2.5
33 " 34 "		1		5						6	2.9
34 " 35 "				1	1					2	1.0
35 " 36 "	1			3						4	2.0
36 " 37 "											
37 " 38 "											
38 " 39 "		2								2	1.0
39 " 40 "											
40 " 41 "			1		1					2	1.0
41 " 42 "											
42 " 43 "					1					1	0.5
合 計	1	3	6	45(1)	46(3)	29(2)	35	38	1	204(6)	100.0
平均勤続年数	35.0	36.3	31.3	29.7	16.5	10.4	6.3	2.4	2.0	14.9	

※ ()は女性職員数を表す

(4) 研修等受講状況

階 級 研 修 等		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計	
消防大学校	幹部科	1		3	3	2				9	
	予防科		1		4					5	
	火災調査科				3					3	
	危険物科		1							1	
	警防科				1					1	
	救急科			1						1	
	救助科		1		1					2	
救急救命士養成所				2	13	14	3	1		33	
消防大学校	幹部教育	初級幹部科		1	3	20	12			36	
	専科	警防科			3	20	13	1		37	
		警防科無線通信課程			1	7				8	
		特殊災害科			2	9	4			15	
	教育	予防査察科 ※ 予防課程含む		2	1	15	11		1	30	
		火災調査科			2	6	7	1	1	17	
		救急科 ※標準課程、救急Ⅱ課程含む	1	3	6	45	44	27	32	9	167
		救助科	1	2	2	15	11	5	4	1	41
	特別教育	はしご自動車等操作員教育	1				1				2
		警防活動教育			1	10	12	6	1		30
		実科指導員教育			1	7	4	1			13
		幹部特別教育				1	1				2
		実火災訓練指導者教育			1						1
		実火災訓練教育				2	7	5			14
	初任教育		1	3	6	45	46	29	35	29	194

(5) 各種資格取得状況

階 級 資 格 区 分		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車運転免許	第一種大型	1	3	6	43	46	27	30	16	172
	第一種中型	1	3	6	47	42	5			104
	第一種普通					4	24	31	33	92
	第二種大型			1	6		1			8
	大型特殊				3		2			5
	普通自動二輪	1	1	1	20	7	5	6	2	43
	けん引一種				3		1			4
無線技士	第1級陸上特殊	1			1					2
	第2級陸上特殊	1	2	4	12	1			1	21
	第3級陸上特殊		1	3	27	41	27	34	29	162
	航空特殊無線	1			1					2
	第4級アマチュア				1					1
	危険物取扱者免許(甲)			1						1
	危険物取扱者免許(乙)		6	3	24	19	10	8	6	76
	危険物取扱者免許(丙)			1	8	2	1			12
	消防設備士免許(甲)				1	1	1			3
	消防設備士免許(乙)				5	10	3	3	1	22
	救急救命士			2	13	17	10	2	2	46
	気管挿管認定救急救命士			(2)	(12)	(13)	(6)			(33)
	薬剤投与認定救急救命士			(2)	(11)	(9)	(3)			(25)
	衛生管理者免許	1	1	5	5	2		1	1	16
	二級小型船舶操縦士	1	2	5	20	13	2	1		44
	二級小型船舶操縦士(湖川小出力限定)						5	5	2	12
技能講習修了者	アーク溶接				1	1	2			4
	ガス溶接	1	2	1	11	10	7			32
	玉掛		2	2	14	12	7	6	2	45
	酸素欠乏危険作業主任者	1	2	6	21	12	9	6	2	59
	有機溶剤作業主任者					2				2
	ボイラ取扱者					1				1
	足場組立等作業主任者						1			1
	移動式クレーン(5トン未満)	1			14	13	4	5	1	38
	防災士				1	2				3
	電気工事士					1	1			2
	高圧ガス製造保安責任者				9	2	1			12
	潜水士	1	2	3	17	13	9	6	1	52
	予防技術資格者(防火査察)		1	1	8	11	5	4		30
	予防技術資格者(消防用設備等)		1		5	6	1	1		14
	予防技術資格者(危険物)		1		3	4	1	1		10
	一般毒物劇物取扱者				1					1
	甲種火薬類取扱保安責任者				1					1

※()は内数を表す。